

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスすてっぷ・あっぷ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月29日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和8年1月29日		～ 令和8年2月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の活動について、毎月計画をたて支援を行っている。	マンネリ化しないように、児童の様子を見ながら目的を定め、会議やミーティングで共有をしている。	毎月行事担当者を変え、様々な情報収集や充実できる内容になるよう取り組んでいる。
2	集団の中で、個人の成長を育てることが出来るよう一人一人に合わせた支援を行い、成功体験を積めるようにしている。	少人数や大人数で、できる活動を取り入れ協調性等を育み、賞賛できる場面を多く持っている。	集団が苦手な児童には、トークン等を活用し賞賛しながらスモールステップで参加できるように取り組んでいる。
3	楽しみながら、スキルの習得ができるよう支援を行っている。	楽しく身体を動かし、力の加減や距離感を学べるようにしている。また、一人一人の強みに視点をあて楽しめる活動となるよう心掛けている。	一人一人の強みをお互いが尊重し合えるよう取り組んでいる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場や、兄弟同士の交流の場の開催が少ない。	親子で参加のイベントや、全利用児・者を対象としたイベントは行っているが、コロナ前に比べ開催を少なくしていた。	大人数での交流が苦手なご家族にも配慮しつつ、保護者や兄弟の交流の場を多く持てるような取り組みが必要である。
2	ご家族に対する支援プログラムに関して、個別に対応はしているが、研修会等の開催の検討が必要である。	ご家族の状況や、就労状況により研修会の開催が難しく、必要に応じ面談時や個別に対応を行っていた。	個別対応は継続しつつ、多くのご家族が参加できるよう調整し、研修会が開催できるよう取り組みたい。
3	環境・体制整備に関することや、地域の子どもたちとの交流等に関しては行っているが保護者への情報発信が足りていない。	参加ウィーク等を行い、事業所内覧を含め実施していたがコロナ禍から来ていない。情報発信についても毎月紙面かSNSの、どちらかに偏っていた。	新年度より参観ウィーク等を再開していく。また、紙面とSNS両方の情報発信を強化していきたい。